

岬のあしたを考える！

岬町議会議員

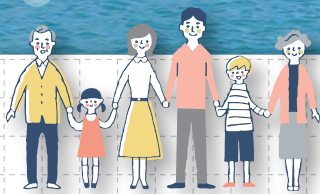
たにざき

# 谷崎せいじ

ずっと住みたい、住んでよかった。  
「住みたいまち」のまちづくりを目指して活動中！

# 動かす。

プランやフレームづくりだけでなく、  
実際にそれが「動く」実践的な仕組みで  
一歩前へ！



## まちを動かす

**公的支援 ⇨ 町のバックアップを進める！**

公的支援機関と組織の見直し、公社の設立、公的支援制度を動かすための機関の見直しと総合窓口対応の推進。空き家、空き地、旧市街の中に地域の活動拠点となる「場」と「仕組み」づくり。参加しやすい議会選挙の実現、委員会参加と意見把握などへの制度改革。

## ひとを動かす

**町を動かす人材の発掘！**

ともに動く、やりがい・生きがいにつながる活動の支援。自然に恵まれた環境を最大限活かしたリモートワーク施設の構築。リモートワークに適した業種や個人への積極的なアプローチ。選ばれるためのステーションや移住者向け施設の整備、サテライトオフィスの誘致。



岬町議会議員

たにざき

谷崎せいじ

1955年に誕生した岬町も、67年を迎えます。高度成長期から現在までの歩みからさらに、100周年に向けての新たな視点とビジョンが求められます。今ここに暮らす人が「ずっと住み続けたい」と思うまち、またこれから「住んでみたい」「行ってみたい」と思う人を増やすまちづくり。ひとりでも多くの方と、岬町の魅力や強みを一緒に考え、行動できることを願っています。

【プロフィール】 .....

岬中学校・大阪府立佐野高校・早稲田大学政治経済学部 卒 /  
関西電力(株)・(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構・関西国際空港(株) 勤務 /  
(社)生産技術振興協会会員・NPOエコデザインネットワーク 監事 /

※ホームページからお申し込みいただけます。

「谷崎せいじと歩む会」事務所

〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日1442-1  
TEL: 072-492-2170 (携帯: 090-3670-1800)



www.tanizaki.run

たにざき  
谷崎せいじ活動中



みさき公園

町営・町所有からその先へ！

● 令和2年3月末の、南海電鉄の撤退。町では引き続きみさき公園を都市公園として存続させる方針のもと「新たなみさき公園」の再開を目指しています。

● 撤退の意向を受けて、「みさき公園のこれから」はまず第一に「町の所有とする」が前提です。公園の土地を町所有とし、岬町が主導権を持って取り組んでゆくことが重要でした。

● 町の所有となった現在。町が、公園や商業あるいは居住スペースとしても土地を提供できる立場になりました。海岸線に近い、緑溢れる自然公園の中の、特急の止まる「みさき公園駅」に続くこの場所をどう活用するのかという大きな課題に全力で取り組みます。

まちに暮らす「新高齢者」「移住者」「二拠点生活者」も。ともにつくるこれからのみさき！

誰もが「歩いて通える」拠点展開、500mメッシュ構想。

● 大阪の都市部にも通勤可能な自然豊かな岬町。コロナ禍によって都市での密集生活したライフスタイルを見直す動きも芽生えつつある現在。若い世代への移住のアプローチはもちろん、人生100年時代を見据えた定年退職世代の方々へも、「岬町の魅力を発信」。

● リモートワーク、サテライトオフィス、二拠点生活者など岬町として「新しい働き方を推進」。

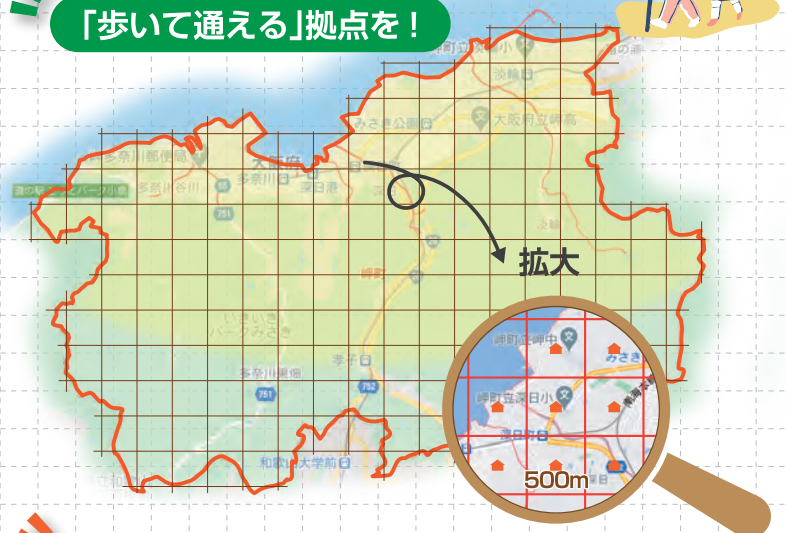
● 60代、70代、80代以上でもお元気で様々な活動に取り組む「新高齢者」の方々のチカラを活かした「岬町の活性化」。

● ずっと岬町で暮らす方はもちろん、新しく岬町に生活圏を移した方も孤立することのない「暮らしやすい町づくりの工夫」。

● 歩いていける範囲に、気軽に足を運べる寄り合い所のような、身近な情報が集まる、「地域のさまざまなコミュニティづくり」を推進。



「歩いて通える」拠点を！



500mメッシュ構想って？

岬町の面積は約50平方キロメートル。そこに500mほどの格子形成を目安に、「集まれる拠点」を。現在ある既存の空き家の活用や、空き店舗など様々な空間を利用した「それぞれに個性ある温かな拠点づくり」。防災の観点からの重要性も含め、共助の意識が芽生えるきっかけづくり・仕組みづくりを推進します。

谷崎せいじは・・・

多選阻止条例、任期に関する条例づくりを求めます

政務調整費(12万円/年)について、議員個人の活動は議員報酬のみで活動されるべきとし、これを返納しています

「まちづくり」において、深く考え、しっかり動きます！

「まちづくり」において、課題を見つめ、柔軟に取り組みます！

